

<初診時診療録>

診察日:20××年7月17日

記載者:○○●●(学籍番号)

患者名:山田 花子(やまだ はなこ)

年齢:42歳

性別:女性

主訴:恶心、嘔吐

現病歴: 2021年7月16日より恶心を自覚し、17日朝に嘔吐し臍部の痛みも伴ったため来院した。胸痛、頭痛はないが、2日間排便を認めない。発症前の生ものの摂取はない。食欲はないが午後からは水分摂取は可能である。

既往歴:15歳時 虫垂炎。アレルギーはない。(喫煙:なし、飲酒:ビール 700 mL/日)

最終月経:5月末か6月1週目

家族歴:特記事項なし

社会歴:仕事で多忙で、来週から出張あり、薬を希望。

解釈モデル:ストレスが原因と考えている。

身体所見:身長 160 cm、体重 50kg。体温 36.4°C。脈拍 64/分、整。血圧 102/68 mmHg。SpO₂ 99% (room air)。皮膚に異常を認めない。Jolt accentuation陰性、眼振を認めない。眼瞼結膜に貧血はない。頸部にリンパ節を触れない。甲状腺に腫大と圧痛とはない。心音と呼吸音とに異常はない。腹部に異常はない。両下肢に浮腫はない。

検査所見:血液所見:赤血球410万、Hb 10.8g/dL、Ht 34%、白血球8,400、血小板24万。血液生化学所見:総蛋白7.0g/dL、アルブミン4.0g/dL、総ビリルビン0.3mg/dL、AST 26U/L、ALT 32U/L、尿素窒素32mg/dL、クレアチニン1.0mg/dL、血糖110mg/dL、総コレステロール130mg/dL、トリグリセリド60mg/dL、Na 132mEq/L、K 4.6mEq/L、Cl 98mEq/L、Ca 9.8 mg/dL。CRP 0.1mg/dL。

検尿検査:異常なし。

腹部超音波検査:異常なし。

妊娠反応:陽性。

経膣エコー:子宮内に胎嚢を認める。

<プロブレムリスト>

#1. 妊娠悪阻

#2. 飲酒

<初期計画>

(1) 診断計画:既往がなく、夫との間で妊娠する機会がある42歳女性の朝方の恶心、嘔吐で来院した。誘因はなく、頭痛、胸痛、動悸も認めない。午後には水分摂取できることから、妊娠悪阻として矛盾はない。軽度の腹痛については嘔吐後に発症しており、胃食道逆流症や、部位からは、蠕動障害による内臓痛が考えやすい。身体診察、血液検査、尿検査からも他疾患を疑う所見はないことから、婦人科で経過観察してもらうのがよいだろう。現時点では、上部消化管内視鏡を強く勧める根拠に乏しい。

(2) 治療計画: 患者とのインフォームドコンセントの結果によるが、制吐剤や胃酸抑制薬の屯用は勧められる。また、本人が希望すれば栄養剤を処方する。消化の良い食事を指導する。飲酒が胎児や妊娠悪阻に悪影響を与える可能性があるため、禁酒をお勧めする。

(3) 説明計画:朝方の恶心で妊娠反応も陽性であり、妊娠悪阻と説明する。しかし、重症の胃食道逆流症などの消化器疾患は否定できないため、経過から胸やけ症状や心窩部痛を合併する場合は、上部内視鏡検査が必要になる場合があるので、その場合は消化器内科に受診するように伝える。